



★ 星に願いを 幼稚園たなばた会



▲頭の上には、手作りの星のお面が光ります

ピアノが上手になりますように!
かの ゆいちゃん (年長児)



なわとび100回
できますように!
あべ らいきん (年長児)

7月7日の七夕に合わせ、草野・飯館幼稚園でたなばた会が開かれました。浴衣に着替えた園児らは、短冊に書いた願いごとの発表や子ども音頭を踊りながら初夏の行事を楽しんでいました。また、笹飾りに使用した竹は村民が避難先で準備をし、園児が飾りつけをしました。

園では、今後も家庭・地域と連携した保育活動・行事を予定しています。

1年生 田植え踊り



村民から直接踊りの指導を受け練習に励んでいます。さらに、昨年に踊りを経験した先輩が後輩へ踊りを教える等、飯館中の新たな伝統が動き出しています。

3年生 みそ仕込み



大豆を豆から栽培します

中学校文化祭で自分たちで作ったみそを振る舞います。今年度は避難先の畑をお借りし、大豆栽培にも挑戦。来年のみそ作りを使う大豆を栽培し、後輩に引き継ぎます。

ふるさとを学び、新しきを得る

飯館中 ふるさとへの歩み

2年生 紙芝居作り



絵本作家、飯野和好先生からアドバイスを受けながら制作しています

村の民話を題材にした紙芝居を制作し、中学校文化祭で発表を行います。また、制作した紙芝居を村内の方へ広める方法を生徒自身で考え、計画しています。



平成27年 6月28日
第4回 思いやりまひらりーピンポン交流会



笑顔、笑顔、笑顔の1日

村は6月28日、福島市立飯野小学校体育館において、相手に勝つのではなく、相手とどのくらいラリーが続けられるかを競う「第4回思いやりまひらりーピンポン交流会」を開催しました。

今回は、村役場をはじめ日頃お世話になっている福島市飯野町から飯野町スポーツクラブ、飯野中学校卓球部、飯野町卓球スポーツ少年団も参加し、村民らとピンポンを通じた笑顔の交流を楽しみました。

スポーツの力を信じて

震災後、継続的な支援をいただいている協和発酵キリン男子卓球部から、今年も4人の選手が参加。選手のスパープレーに会場中から大きな声援が送られました。

また、今回で3回目の参加となる小野竜也同部主将から「参加する度に、村民の皆さんから元気をもらっています。スポーツを通して、笑顔になってもらいたいです」と温かい言葉が贈られました。



▲鍋にピンポンを入れるお楽しみゲーム



◀333回の大記録！ 個人の部優勝！
菅野ひかりさん(飯野中)



村「食を考える会」が
手作りジュースで応援!

トップアスリート から学び

卓球教室開催

当日の午前中には、協和発酵キリン男子卓球部の選手らによる卓球教室が開かれました。飯館中学校卓球部・飯野中学校卓球部生徒の他、一般参加者がサーブやスマッシュの打ち方の直接指導を受けました。飯館中学校卓球部部長の星明日花さん(2年)は「選手に直接教えてもらえる貴重な時間でした。今日教えてもらったことをしっかりと練習して取り組んでいきたいです」とこれからの意気込みを話していました。

